

戦略  
目標

# 日本No.1カンパニーとして成長

日本は、当社グループの地域別売上収益の柱として最も重要な市場です。イノベティブ医薬品\*の強みを活かし、そこにワクチン事業、ジェネリック医薬品事業、OTC医薬品関連事業の3つの事業を加え、予防、セルフメディケーション、治療までのさまざまな社会的ニーズ、医療ニーズへの確に対応することにより、名実ともに日本No.1カンパニーとして成長することを目指しています。

\* 特許による独占販売期間が保護されている新薬

## 1 第4期中期経営計画

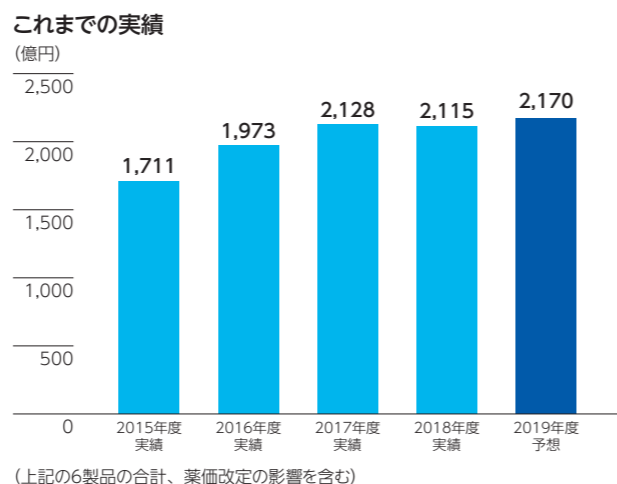
中心となるイノベティブ医薬品事業においては、グローバル製品である直接経口抗凝固剤リクシアナに加え、抗潰瘍剤ネキシウム、アルツハイマー型認知症治療剤メモリー、骨粗鬆症治療剤・関節リウマチに伴う骨びらの進行抑制剤プラリア、がん骨転移による骨病変治療剤ランマーク、抗血小板剤エフィエント、2型糖尿病治療剤テネリアの6つの製品を主力とした事業展開を行っています。

このうちネキシウム、メモリー、プラリア\*、ランマークの4製品については、市場シェアNo.1を獲得しています。

\* 骨吸収抑制剤市場において市場シェア1位

6つの主力製品の売上収益は、2016年度1,973億円、2017年度2,128億円と着実に拡大してきました。しかし2018年度は、ネキシウムの大幅薬価引き下げなど、中計発表時の想定より状況が厳しく、売上収益はほぼ横ばいの2,115億円でした。

2019年度は、薬価改定による減収影響が見込まれますが、前期比増収の2,170億円を予想しています。市場環境は厳しさを増していますが、充実した製品ポートフォリオと優れた営業力を活かし、2020年度目標である売上収益2,430億円を目指します。

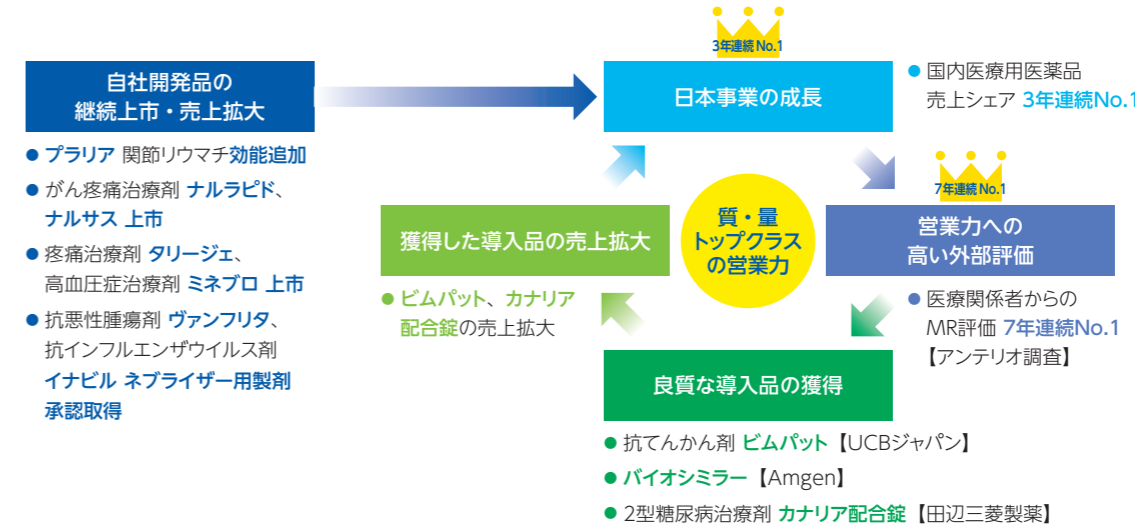


## 2 これまでの進捗

自社開発品の継続的上市・売上拡大を図り、イノベティブ医薬品事業を成長させ、質の高い営業力を活かして、良質な導入品を多く獲得し、さらに成長するという好循環を継続することで、日本No.1カンパニーとしての存在感を高めるように努めています。下の図に示したように、中計期間中、多くの成果を上げています。導入した、抗

てんかん剤ビムパットや、2型糖尿病治療剤カナリア配合錠は、2019年度の売上収益目標100億円以上を目指すところまで大型化してきました。また、持続的成長の重要な基盤となるMR評価\*では、7年連続No.1を獲得し、日本における医療用医薬品の売上収益では、3年連続No.1を達成しました。

\* 株式会社アンテリオによる調査



2019年度は、充実している製品ポートフォリオに、自社開発品である疼痛治療剤タリージェ、高血圧症治療剤ミネプロ、待望のがん新製品ヴァンプリタが加わりますので、これら新製品の早期育成を目指します。また、積極的に導入活動を行うことにより、有望な導入品を獲得することで、厳しい市場環境を乗り越えていきます。



### COLUMN

#### 日本の医薬品市場

日本の医薬品市場は約10兆円規模で、その中、約90%が医師の処方箋が必要となる医療用医薬品で、残りが一般用医薬品など、薬局やドラッグストアなどで購入可能なOTC医薬品です。また、医療用医薬品市場

では、後発医薬品(ジェネリック医薬品)が拡大しており、2018年9月時点では、数量シェア\*で約73%となっています。

\* 「後発医薬品」/ (「後発医薬品のある先発医薬品」+「後発医薬品」)

